

『妻よ、僕の恋人になってくれませんか？』の漫画の感想レビューに関するアンケート調査結果

■アンケート調査概要

調査目的	『妻よ、僕の恋人になってくれませんか？』の漫画の感想レビューに関するアンケート調査
調査対象	『妻よ、僕の恋人になってくれませんか？』を読んだことのある10代～50代の男女36名
調査期間	2026年1月10日～2026年1月11日 2026年1月25日 2026年2月8日 2026年2月22日 2026年3月8日 2026年3月22日 2026年4月5日 2026年4月19日 2026年5月3日 2026年5月17日
調査方法	インターネット調査
モニター提供元	クラウドワークス
データ使用サイト	https://glucks-web.co.jp/manga-zenkan/tum/ayobokunokoibitoni/

■アンケート項目

Q1: 年代と性別を教えてください。

Q2: 『妻よ、僕の恋人になってくれませんか？』を実際に読んだ感想を教えてください。

Q1: 年代と性別を教えてください。

20代男性	0人
20代女性	0人
30代男性	10人
30代女性	1人

40代男性	4人
40代女性	5人
50代男性	12人
50代女性	0人

Q2:『妻よ、僕の恋人になってくれませんか?』の感想を教えてください。

『妻よ、僕の恋人になってくれませんか?』1話	何度誘っても断られていた巧は気の毒でしたが、自分にも原因があるように思えました。というのも、彼は自分勝手に行動しすぎていたからです。自分の欲求だけで迫っていたと言えるでしょう。しかし、工藤のアドバイスが良いきっかけになったように感じました。これを続けていけば、美月にも巧を受け入れる余裕が生まれてくるのではないのでしょうか。今後美月がどのように変化していくのか、注目したいです。
『妻よ、僕の恋人になってくれませんか?』1話	結婚した後の男性と女性の考え方の違いとか、結婚への向き合い方の違いがまざまざと現れていて、男性が読むか、女性が読むかによって、めちゃくちゃ感想が分かれそうな作品だなんて思いました。それにしても奥さんが旦那のことを、男性として意識していないどころか、デカイ子供みたいに思っていたのは驚いていたけれど、家事も育児もしないんだから、子供と同じなのは納得かも。
『妻よ、僕の恋人になってくれませんか?』1話	夫婦になったからこそ、安定した生活で日常の刺激が失われている描写がとてモリアルで引き込まれました。そして、再び恋人のような刺激的な毎日を取り戻そうと頑張る主人公を応援したくなりました。奥さんはとても可愛くて、主人公がべた惚れなのも納得できますし、二人の愛の形がどう変化していくのかを見届けたくりました。
『妻よ、僕の恋人になってくれませんか?』1話	元黒ギャルJK妻というキャラクターの強さはあるものの、共働きで子どものいる35歳夫婦ってある設定が感情移入しやすかったです。オタク夫を応援するような気持ちでマイページを生唾ごっくんで読めました。子どもを寝かせて準備万端で、というドキドキ感が伝わるタッチでした。第二話以降もどんな展開になるか楽しみです。
『妻よ、僕の恋人になってくれませんか?』2話	家事の分担がほとんどできていないことに驚きました。美月の家事負担があまりにも大きすぎますね。だからこそ、美月に余裕が生まれず、その気になれないのだなと納得しました。巧の努力が無駄になっていなかったことに安心しました。空回りが続いていたので、どうなるのか不安でしたから。このまま美月を思いやり続ければ、近い将来巧の願いが叶うのではないかと思います。
『妻よ、僕の恋人になってくれませんか?』2話	世の中にはまったく家事に協力してくれない夫や、妻には一切プレゼントを贈らない夫もいると思うので、巧は夫として素晴らしいと思いますし、やっていることは決して見当はずれというわけではないのですが、それだけじゃ妻の負担はそれほど減らないんだよねと読者に思わせるさじ加減がリアルだと感じました。子どもたちを1日どこかに預けるくらいしないとムリだよ、と巧にアドバイスしてあげたくりました。
『妻よ、僕の恋人になってくれませんか?』2話	お皿洗いや指輪など、美月とラブラブになるための巧の作戦は一見不発に終わってしまっているように見えますが、彼の優しさや気遣いはちゃんと美月に伝わっているようで、2人が愛し合っている夫婦なことが読み取れてほっこりしました。自分の希望を一方的に通そうとしない巧も、きちんとお礼が言えて、考え方がしっかりしている美月も、どちらも素敵だなと思いました。
『妻よ、僕の恋人になってくれませんか?』2話	お風呂上りの妻、美月を改めて見た時の生唾ごっくん、「日常の中における非日常」ですね。付き合い当初のむさぼるようにしていた頃と違い、女性は出産を経て改めてオンナらしくなりますよね。改めて恋人として接したい気持ち、記念日のプレゼント作戦、いずれも経験者として頷きながら読めました。レス解消なるか、続きが気になります！
『妻よ、僕の恋人になってくれませんか?』3話	巧の努力がついには実を結んだように感じられます。空振りばかりが目立っていた巧でしたが、その積み重ねがあったからこそ成功したのでしょうか。美月の気持ちが変わっていたからこそ、巧の想いも通じたわけです。心からお祝いの言葉を贈りたいですね。ただ、巧がうまくやれるかどうか気になりました。二人のお子さんがあるぐらいですし、何度も関係を持ってきたとは思いますが、でも、期

	間が空きすぎているんですね。悪い方向に暴走してしまわないかと心配です。
『妻よ、僕の恋人になってくれませんか？』3話	下心が前提にあるとはいえ、普段は子育てや家事に追われている美月をねぎらい喜ばせるために、アレコレとデートプランを練っていた巧はとても偉いと思いました。なので、美月の気持ちを優先させてその計画が崩れてしまったのはかわいそうでした。また、思い通りにいかなかったからといって不機嫌になったり拗ねたりしないのも巧の美点だなと感じました。
『妻よ、僕の恋人になってくれませんか？』3話	2話のマッサージで良い雰囲気になっていましたし、子どもたちがお出かけして夫婦2人きりという絶好のシチュエーションを迎えたので、いよいよ巧の念願が叶うのかと思いきや、大掃除が始まってしまってびっくりしました。ただ、女性側の立場で考えると、確かにめったにない機会にこそできることを済ませてしまいたいよねと共感を覚えました。
『妻よ、僕の恋人になってくれませんか？』3話	子どもを預けて夫婦水入らずとなった時の巧くんの緊張感が伝わってきました。若い頃のとにかくやりたいモードと違い、雰囲気づくりから準備する健気な巧くん、同じオタク系男子として応援しながら読めました。普段はうだつが上がらない感じなんですけど男の顔をするシーンや、妻が妙に艶めかしく感じるシーンが気に入ってます。
『妻よ、僕の恋人になってくれませんか？』4話	今回は巧が気の毒だと感じましたもちろん、拗ねている時の巧は最悪だったと思います。でも、そこへ至るまでに問題があったように感じました。どんな事情があったにせよ、誕生日の巧を放ったらかしにして2時間以上も長電話をするのはどうかと思います。電話の相手に特別な事情があったとしても、巧を優先すべきだったのではないのでしょうか。美月は巧の誕生日を忘れていたのではないかとさえ感じてしまいました。
『妻よ、僕の恋人になってくれませんか？』4話	美月ちゃんと巧の気持ちに伝えたいと思っていたのに、タイミング悪く月の障りがきてしまうという展開に、思わずドンマイと巧に声をかけてあげたくまりました。しかもその後もなかなか良い機会が訪れなかったうえ、2人の心がすれ違ってしまうようなことまで起きてしまって、これからどうなるのか心配です。続きが待ち遠しくなる回でした。
『妻よ、僕の恋人になってくれませんか？』4話	とにかくすれ違いが心苦しいお話でした。美月だって良い方向に行こうと願っているはずですが、元彼から電話が来たことだって、今後の生活のことを考えて無視できなかったのかもしれない。でも、精神的にナーバスになってしまっているパートナーに対してそれは悪手だったかも。見事にすれ違って、読んでいて歯がゆい気持ちになりました。
『妻よ、僕の恋人になってくれませんか？』4話	夫婦間の、男女間の解決できない認識の相違を考えさせられます。夫側の認識が妻側から見ると違って捉えられているんですね…。第四話では、巧くんのこれまでの努力もあって、美月ちゃんともラブモードになってきたのでいよいよレス解消！と思いきや、またしても失敗。レス解消コメディ、まだまだ続きが気になります。
『妻よ、僕の恋人になってくれませんか？』5話	巧と美月の関係がとても仲良くなって、本当によかったです。もしこじれていたら、一生レスのままになる可能性もありましたから。美月も巧にときめきを感じてくれたようで、何よりです。
『妻よ、僕の恋人になってくれませんか？』5話	同窓会の展開が気になりました。今の美月なら、高峰がアプローチしてきても心が揺らぐことはなかったでしょう。そう思って安心していたのですが、高峰は酔わせて無理やり抱こうとしていました。人の好い美月なら引かかってしまいそうで、とても不安です。
『妻よ、僕の恋人になってくれませんか？』6話	何故高峰が美月にご執心なのかがわかってスッキリしました。美月からすると、高峰は過去の人です。しかし、高峰は高校時代から止まったままだったのでしょね。気持ちはわからないでもないですが、酔いつぶしてホテルへ連れ込むという方法はとるべきではなかったなって思います。回想シーンで、高峰が投資詐欺について話していました。美月の実家に関係ありそうな感じがしますし、何をしたのか注目したいです。
『妻よ、僕の恋人になってくれませんか？』6話	高峰には高峰で、コンプレックスを抱えて生きてきたんですね。とはいえ、全く同情はできません。結局無理やり寝取ろうとしていることに違いはありません。やり直すとか言っていますが、今からしようとしていることは全く関係ありませんね。巧がどう対処するか期待です。

『妻よ、僕の恋人になってくれませんか？』7話	巧がやってくれました。美月を助けることができただけでなく、あの高峰に対して啖呵を切ったのです。普段の巧からは考えられません。男として一皮剥けたように思います。一方で、独立を目指すところが気に入りました。今はテンションマックスだから、頑張っているだけという感じなんですよね。過労によって倒れる場面もありましたし、体力がついていくかどうか心配です。
『妻よ、僕の恋人になってくれませんか？』7話	巧と美月の関係がかなり進みましたね。まさか7話の時点で、そんな姿を見せてくれるとは意外でした。人妻らしい少しリアルな肉付きがあり、非常に魅力的なスタイルでした。巧が倒れてしまうほど働いてしまうのもわかります。どんどんサービスシーンが多くなりそうで楽しみです。
『妻よ、僕の恋人になってくれませんか？』8話	巧の努力を称えたいと思います。高峰の会社にまで営業をかけたということは、さまざまな会社に営業活動をしていたのでしょう。巧の性格からすると、そういったことが得意とは思えず、精神的にもかなり大変だったと思います。それでも巧は最後までやり遂げました。家族のために頑張り抜いたことは本当に素晴らしいと思います。レスの問題も解消できて安心しました。その経験を田所にも伝え、夫婦円満の輪を広げて行って欲しいですね。
『妻よ、僕の恋人になってくれませんか？』8話	無事に夫婦関係が改善できて良かったですね。独立と聞いて、少し不安な気持ちになりましたが、あっさりと成功していました。確かに、巧の独立がメインの話ではないので、ここをあっさり描いていたのは良かったと思います。美月の体もダイナマイトでドキドキ感が満載でした。次の第2章のヒロインも可愛いですし、続編にも期待です。
『妻よ、僕の恋人になってくれませんか？』9話	夜の生活以外では、本当に仲の良い夫婦だと感じました。付き合いが長いだけあって長所短所を理解し合っていますし、互いに地を出せるというのは素敵だと思います。そんな夫婦でもレスで悩むことがあるんだと驚きました。夜の生活がうまくいかなかった後、喧嘩せずにお互いを思いやる姿に心が温まりました。あの展開なら、揉めても仕方なかったと思うんですね。しかし喧嘩をするどころか、二人は互いに相手を思いやる行動をとっていました。この二人ならレスを乗り越えられそうだと思います。
『妻よ、僕の恋人になってくれませんか？』9話	1章は少しだらしがない部分があるけど、ダイナマイトで魅力的な体のヒロインでした。2章のヒロインの凜は、すらっとしていて、これまた違ったドキドキ感があります。早速始める展開にはドキドキしましたが、レス解消にはならないのでしょうか。それにしても、1ページいっぱい描かれた凜が本当に綺麗です。主人公の口の破綻は少し気に入りました。
『妻よ、僕の恋人になってくれませんか？』10話	レスの原因が痛みにあったことには驚かされました。この様子を見る限り、凜は以前から痛みを感じていたはずで、その段階で適切に対処しておくべきだったのではないかと思います。何の対策も取られないまま関係が遠ざかってしまったことには、正直なところ呆れてしまいました。ただ、耕一が凜の震えに気づけたことは良かったと感じます。以前よりも凜を思いやる気持ちが強くなっていることが伝わってきました。この様子だとレスは改善出来たように思いますし、安心しました。
『妻よ、僕の恋人になってくれませんか？』10話	まさか、こんなに早くレスが解消されるとは思いませんでした。巧のときはもっと時間がかかったので、いろんなトラブルがあるものかと思っていましたので。とはいえ、二人は恋人のような関係には戻れていないと思います。なので、ここからさらに、二人の仲が深まっていく展開が待っているんじゃないかと思います。今でも十分仲は良いと思いますけどね。
『妻よ、僕の恋人になってくれませんか？』11話	レスが本格的に改善しそうな気配が感じられます。先日、一度は関係を持つことができたものの、その後は続かず、一週間が経過していました。このままでは再びレスに戻ってしまう可能性もありましたが、凜のほうから耕一を求めるようになったことで、状況は大きく変わりつつあります。特に印象的なのは、凜の変化です。彼女から積極的にアプローチされれば、耕一の気持ちも自然と高まることでしょう。恋人のような関係に戻れそうな雰囲気もあり、このまま関係が深まっていく展開に期待したいところです。
『妻よ、僕の恋人になってくれませんか？』11話	前回と異なり、かなり順調に関係を築けていますね。今回の話で赤ちゃんができた時を想像するシーンがありましたので、第2章は、二人の間に子供ができるまでの話かもしれません。もちろん、恋人のような関係性を気づいた状態です。子供ができてからの二人の関係性も気に入りますね。

『妻よ、僕の恋人になってくれませんか？』12話	レスは解消できたことに安堵したのも束の間、新たな問題が浮上した点に戸惑いを覚えました。努力すればすぐに収入へ反映されるわけではなく、この課題はしばらく続いていくでしょう。その不安が関係を持つたびに頭をよぎるようであれば、再び距離が生まれてしまう可能性もあります。短期間では解決できない問題だからこそ、二人の前途にはまだ難しさが残っていると感じさせられました。一方で、凜の最後の言葉も引っかかります。子供を作ることは考えられないとまで言われてしまったら、耕一の決意や努力が報われない可能性も出てきます。だからこそ重要になるのは、ここからの話し合いでしょう。二人がどのような結論にたどり着くのか、注目したいです。
『妻よ、僕の恋人になってくれませんか？』12話	もともと能力が高かったようですし、仕事の面に関しては問題なさそうですね。問題は凜が子供を欲しくないということについてです。なんだか単純に子供がほしくないというよりは事情がありそうなんですよ。それが何なのかは、次の13話で判明しそうです。
『妻よ、僕の恋人になってくれませんか？』13話	凜と耕一の夫婦関係にはこれまでどこか違和感がありましたが、今回の描写によってその背景が明らかになり、納得感が得られました。こういう事情があったから、凜は子供を望まなかったんですね。ただ、耕一は凜の父親と同じような行動をとるとは思えません。そのことをもっと早く理解してくれていればよかったと思います。凜は自分の非を認めることが出来ました。今後どのようにして自分の気持ちを耕一に伝えるのか、その過程に注目したいです。
『妻よ、僕の恋人になってくれませんか？』13話	これまで順調すぎた二人だったので、とうとうトラブルのようなものが起こってワクワクしました。とはいえ、少し離れることで、お互いに頭が冷えたでしょうし、すぐに仲直りはできそうです。そして、最後にはどう着地するのが重要ですね。巧と同じように独立することはないでしょうし、耕一は今の会社で出世していけるように努力する方向に落ち着きそうです。
『妻よ、僕の恋人になってくれませんか？』14話	耕一にとって、凜は本当になくしてはならない存在なのだと改めて感じました。交通事故で夢を絶たれ、心まで折れかけていた耕一を支えたのが凜でした。もしあの時、凜が寄り添ってくれていなければ、今の耕一は存在していなかったかもしれません。それほどまでに、凜の存在は耕一の人生を大きく変えたのだと思います。絶望していた相手を見捨てず、真正面から向き合い続けた凜の強さと優しさには、本当に感動させられました。そして今度は、その立場が逆転しようとしています。落ち込み、自分を見失いかけている凜の前に、今度は耕一が現れました。あの頃とは真逆とも言える状況だからこそ、耕一がどんな言葉を掛け、どのように凜を立ち直らせるのか注目したいです。
『妻よ、僕の恋人になってくれませんか？』14話	巧が出てきたのは意外でしたね。2章もクライマックスっぽいですし、次くらいで2章が終わりそうな気がします。ただ、久しぶりに登場したからなのか、巧のAI絵のクオリティが少し下がったのではないかと感じました。というより、全体的に粗さが目立ってきたように思えます。自分が見慣れてきたからなのかはわかりませんが、やっぱりAIが使われているんだなって、ここにきて再確認しました。

漫画全巻の部屋

by (株)グリュックス